

会議等経過報告書

件名	令和4年度第2回大船渡市民文化会館運営審議会
日時	令和5年2月2日(木)午前10時～午前11時
場所	大船渡市民文化会館 会議室
出席者	大船渡市民文化会館運営審議会委員 10名 矢作清英会長、千葉賀子副会長、菊地研委員、久保田ユウ子委員、小松瞳委員、佐々木陽代委員、佐々木フミ子委員、佐々木康人委員、佐藤光男委員、古内嘉典委員 事務局 新沼部長、熊谷館長、佐々木館長補佐、菅野総務係長、木村事業係長、谷川企画運営員
報告者	協働まちづくり部 市民文化会館 佐々木英紀

会議の概要

1 開会 (進行:熊谷館長)

2 挨拶 (矢作会長、新沼部長)

3 報告

(1) 報告第1号 令和3年度市民文化会館決算状況について

(2) 報告第2号 令和4年度市民文化会館主な貸館・自主事業実施状況(4月～12月分)について

(3) 報告第3号 令和4年度市民文化会館施設稼働状況(4月～12月分)について

(4) 報告第4号 令和4年度市民文化会館施設利用者数状況(4月～12月分)について

(5) 報告第5号 各種設備更新事業の進捗状況について

佐々木館長補佐が、資料に沿って説明した。

質問・意見なし

4 協議

(1) 協議第1号 令和5年度市民文化会館事業運営(自主・共催事業)について
木村係長が、資料に沿って説明した。

質問・意見については、次のとおり。

(佐々木フミ子委員)

自主事業について、古典芸能的なものは呼べないものか。

(熊谷館長)

以前、歌舞伎の公演を計画したが、台風で中止になったことがある。古典芸能も

含めて、引き続き、検討したい。

(菊地研委員)

イベントの周知について、広報紙やホームページだけではなく、若い世代にも知ってもらおうようSNSなどを活用したほうがよいと思う。

(熊谷館長)

市全体の課題として認識している。幅広い世代に周知できるよう努めたい。

(千葉副会長)

メディアから発信されている人やテレビに出ている人は、集客力があると思う。良いものを有料でも見たり、聞いたりする意識を広めていかなければならない。客席の利用制限については、そろそろ緩和してはどうか。

(熊谷館長)

無料公演を続けるのは難しい。有料公演でも客入りが望めるようになるには、1年、2年で解決するものではなく、継続して取り組む必要がある。

新型コロナウイルスによる入場制限については、今後、なくなる見通しである。

(2) 協議第2号 指定管理者制度の導入について (資料は非公表)

佐々木館長補佐が、資料に沿って説明した。

質問・意見なし

5 その他

・大ホール舞台音響設備の更新について

(熊谷館長)

新しい音響設備となり、周りの反響等があったら、教えてほしい。

(佐々木フミ子委員)

音が変わった、聴きやすくなったとの声がある。

(千葉副委員長)

東北、全国でもハイレベルなホールだと思う。

6 閉会 (熊谷館長)